

有島安子 舞臺 歌人。明治二十一年六月十七日東京本郷生れ、大正五年八月二十日歿（八八九—一九三六）。陸軍中將神尾光臣の次女。明治三十九年東京女學館を卒業、次で專修科在學中の四十二年、有島武郎と結婚した。大正三十二年肺結核を發病。武郎作「死と其前後」（大正六年十月）「新小説」掲載。のち「有島武郎著作集」第一輯「死」大正八年十月十八日新潮社所収）は、妻の死に題材を採つた戯曲。

遺歌文集『松むし』（大正五年八月有島武郎序、無刊記）の題は義父有島武郎の命名、題字とその筆による。

